

かっこよく、今を生きよ！

校長 栃倉 和則

かっこいい人とは、逃げない人だと思う。自分一人くらいいいなくても大丈夫だろうとか、このくらい手を抜いてもいいだろうとか、どうせできないからこの辺でやめとこう…そんなことを考えない人だ。とかく人間は弱い存在、気持ちに負けてしまいがちだ。

親や先生は、転ばぬ先の杖とばかりに、時としておせっかいなことを言う。言われなくてもわかっている。やらなければいけないのに、なんとなく気が乗らない。いとも簡単に先送りし、スマホに手を伸ばす。時間だけが確実に過ぎ去っていく。言われなくてよいことを言わせているのは、他ならぬ自分自身だ。

仕方なく取り組んでいたら、いつの間にか集中していたなどという経験はないだろうか。どうやら、人間の脳はそんな風に作られているらしい。行動が感情を動かす好例だ。つまり、負の感情に負けずに、まず始めてみるのが大切だ。やらずにできるはずがない。そんな簡単な原理に辿り着くのに、何十年もかかった。こうしてまた、おせっかいを繰り返す。

伸び伸びと主体的に行動し、頂点を目指せと言い続けてきた。さらに今年は、今を大切に、今しかできないことに取り組んでほしいと付け加えた。ひとつのことに打ち込み、完全燃焼してほしい。後悔ばかりの人生を歩んできた校長の強い願いだ。

*Touch the Sky! TOYOTAMA!*